

未来へ 翔け

次世代の『ものづくり』を担う若者たち

県立伊万里実業高等学校

~Imari Vocational high school~

■質問内容

- ①高校時代の思い出
- ②建設業に就職しようと思ったきっかけ
- ③どんな社会人になりたいか



中村 碧さん

【略歴】なかむら・あおひ。伊万里市立伊万里中学校出身。和太鼓部。取得資格は情報処理検定(表計算)3級、小型車両系建設機械 刈払機作業者特別教育修了。中村工業㈱に内定。

①部活動です。高校に入ってから和太鼓部に入部しました。最初はとても難しい事ばかりでしたが、日々稽古に取り組んで成長していききました。学年が上がってからはレギュラーにも入り、部のキャプテンを務め、部員と共に頑張りました。みんなと最後までやり遂げたことが最高の思い出です。

②祖父が建設現場で働いている姿をみたことです。祖父のように自分でつくったものを残したり、誰かの役に立てる仕事をしたいと思い、建設業に就職しました。

③社会人として誰からも頼られる人になりたいです。頼られるためには、技術と信頼が必要だと思います。頼られることで自信が付き、仕事のモチベーションにもつながると思っています。



中尾 光星さん

【略歴】なかお・ひかる。伊万里市立青嶺中学校出身。カヌー部。取得資格は危険物取扱者乙種第4類、日本語ワープロ検定3級、情報処理検定(表計算)2級、プレゼンテーション作成2級、文書デザイン2級、小型車両系建設機械、小型フォークリフト運転特別教育修了、刈払機作業者特別教育修了、伐木等の業務に係る特別教育修了。㈱山崎建設に内定。

①資格取得や部活動を頑張ったことです。資格取得では、一年次より学んできたことを活かした土木の資格や、国家資格である危険物取扱者の合格に向けて勉強を頑張りました。部活動ではカヌー部に所属し、副部長を務めました。日々の練習を仲間たちと共に頑張ってきました。大会では、県高校総体2位という成績を残せて良い思い出になりました。

②高校の学習を通して建設業に興味を持つようになりました。高校では、建設業の基礎となる測量や土木施工の学習に取り組み、建設の楽しさを学んできました。そして高校での学びを活かせる職業に就きたいと考えるようになりました。自身で設計したものが未来に残り、後世に引き継がれていくところが建設業の魅力だと思います。

③私は周りの人から信頼される社会人になりたいです。信頼されることで、任せてもらえる仕事も増えるからです。そのために普段当たり前にしていることをずっと続けることが大事だと思っています。社会人になっても体調管理に気をつけ、日々頑張っていきたいと思います。



松尾 優斗さん

【略歴】まつお・ゆうと。伊万里市立国見中学校出身。野球部。取得資格は情報処理検定(表計算)2級、文書デザイン3級、小型車両系建設機械、測量士補、プレゼンテーション2級、刈払機作業者特別教育修了、伐木等の業務に係る特別教育修了。佐賀県立産業技術学院 建築技術・設計科に進学。

①一番思い出に残っていることは、体育祭です。副団長を務め、団長やリーダーと一緒に皆をまとめることに力を注ぎました。また、後輩たちのコミュニケーションを通して、人をまとめることの難しさを感じながらも、総合優勝を目指して頑張ることの楽しさを知ることができました。

②元々、建築物などに興味を持っており、ものづくりが好きだったことからその専門性を高めるために産業技術学院に進学を決めました。オープンキャンパスに参加して、この学校で学べる知識や技術を身につけることで、自分が思い描くものづくりができていると思っています。進学してしっかりと勉強や実習に励み、自分の夢を叶えたいと思います。

③社会に出て、みんなから信頼される人間になりたいと思います。そのために、決められたことをしっかりと守って信頼関係を築き上げていきたいと思っています。そして、立派な社会人として地域や社会に貢献していきたいです。